

関西学生選抜

関西選抜の初の取り組み

関西学生選抜とは、その名の通り、関西を代表する選手たちが集うチームです。今までの関西学生選抜は、全リーグが終わった後に各大学から選手を招集し、年度末の3月に関東などの他地域選抜と試合をする「デンソーカップ」に向けてチームが組まれました。しかし、今年度は関西の大学チームに所属する選手の強化、リーグ戦のレベルアップを図るべく、関西のJリーグの4チーム（サテライトチーム）と試合をするという活動を年間を通して行ってきました。

今年度は今まで計5回、Jリーグのチームと対戦してきました。ですが、さすがにプロチームということもあり関西選抜が勝利を収めたのは1試合

だけという結果になりました。

ただ、この1つの勝利は最後の試合で掴んだものであり、今後の選抜活動に更なる期待を抱かせるものでありました。また、それまでは負け試合ではありませんでしたが中には点を取り合うような試合、勝てそうだった試合というものもあり、全く違う結果がでていてもおかしくはなかったのではないかと思います。そして関西選抜の活動の目的は、その時の試合や練習をするだけにとどまりません。各選手が選抜活動で学んだことを自分の大学チームに還元することが大切で、選抜活動に参加した選手の義務ともいえることであります。得た経験を他の選手にも伝えていくことが関西学生サッカーリーグのレベルアップに繋がります。

このような活動を行った関西選抜ですが、では選ばれるためには？について少し触れてみたいと思います。左上の図は選抜選考にあたり、重視されている要素です。

関西選抜に名を連ねる選手は、ただプレーが上手いだけではありません。サッカーに対する姿勢や、人間性も重要な要素であります。

関西選抜に選ばれるということは、実は、誰でも想像できるほどシンプルかもしれませんが、それをコンスタントに発揮していくことは難しいことかもしれません。

選抜活動は選抜選手やコーチ・スタッフ陣、そして関西学連の幹事たちがいることで成り立っています。

関西学連の幹事達は、まず前日に準備するところから始まります。

試合や練習の日程を伝達したり、用具なども忘れものなどがあれば選手たちにも迷惑がかかるため入念に準備する物を確認します。

その他にもスケジュール決めや、選手たちの健康情報なども把握ときます。また、当日は学連幹事だけでなく、選抜の選手たちも準備や後片付けをこなし協力し合いながら練習や試合の場づくりを行います。そういった共同作業をすることでお互いの信頼関係が築かれます。



関西選抜に選ばれるには・・・【一部抜粋】

- ・リーグで活躍する or その可能性がある
- ・闘う姿勢、学ぶ姿勢がある
- ・人間関係を大切にする

etc...

そして、黒髪でピアスをしていないことです

デンソーカップ

日本の各地域の選抜チームが試合をする大会で、毎年3月ごろの年度末に開催されています。ここで大学サッカーの強化育成や全日本大学サッカー選抜の選手選考が行われます。

そのため、デンソーカップには毎年多くのJリーグなどのスカウトが来られるため、アピールできる場にもなっています。

各試合の予選が20分ハーフと変則的ではあり、選手達はハイスピード、ハイプレスといったより高いレベルの環境でプレーしていくことが求められます。

なお、今年の春に開催された大会では、関西選抜Aが優勝しています。

